

配信講義一覧

苦手な科目や復習したい科目を自由に選べます。

物理化学

- 1 分子間力、熱力学
- 2 酸塩基、相平衡（1成分、2成分）
- 3 反応速度（0次～2次、複合反応、反応経路）、各種化学平衡
- 4 反応速度（擬0次、擬1次、アレニウス）、溶液の化学

分析化学・放射化学

- 1 電磁波、紫外可視吸光度測定法、蛍光光度法、赤外吸収スペクトル測定法
- 2 核磁気共鳴法、質量分析法
- 3 クロマトグラフィー、電気泳動法
- 4 試料前処理法、X線回折法、旋光度測定法、画像診断法、免疫学的測定法
- 5 確認試験、容量分析、金属元素の分析
- 6 放射化学、電離放射線の生体影響、放射性医薬品

有機化学

- 1 基本骨格、IUPAC命名法、電子配置、化学結合、混成軌道、分子軌道
- 2 無機化学、共鳴・共役・互変異性、酸性度・塩基性度、反応中間体
- 3 芳香族化合物、立体
- 4 ラジカル反応、アルケン・アルキン
- 5 有機ハロゲン化合物、アルコール・フェノール・チオール、エーテル、アミン
- 6 カルボニル化合物、カルボン酸、加溶媒分解反応、炭素-炭素結合生成反応
- 7 生薬学、漢方

生物（生化学・機能形態学）

- 1 糖質の構造と代謝
- 2 脂質の構造と代謝、アミノ酸の構造と代謝
- 3 遺伝子の構造と性質、核酸代謝、セントラルドグマ
- 4 タンパク質の構造と性質、ビタミン、細胞の構造と性質
- 5 微生物、遺伝子工学
- 6 免疫反応、アレルギー
- 7 神経系、筋肉、循環器
- 8 皮膚、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、感覚器、血液、リンパ系

衛生学

- 1 生態系、生物濃縮、水環境（～下水処理、富栄養化）
- 2 水環境（法規制～）、大気環境、室内環境
- 3 化学物質の代謝・代謝的活性化
- 4 有害金属、農薬、有害有機物質、化審法、POPs、有機溶媒、工業製品
- 5 乱用薬物、非電離放射線、生態系（窒素循環、地球環境問題）、廃棄物
- 6 エネルギー代謝、食事摂取基準、栄養摂取の現状、食品の変質、食品添加物、健康と疾病をめぐる日本の現状
- 7 食品衛生のための法規制、保健機能食品、食物アレルギー、遺伝子組換え食品、疫学
- 8 健康とは、疾病の予防、感染症、職業病
- 9 食中毒、保健統計

薬理学

- 1 情報伝達、副交感神経系に作用する薬物
- 2 交感神経系に作用する薬物、呼吸器に作用する薬物、中枢神経系に作用する薬物（全身麻酔）
- 3 中枢神経系に作用する薬物（催眠薬～統合失調症）
- 4 中枢神経系に作用する薬物（抗うつ薬など）、循環器系に作用する薬物（心不全～狭心症）
- 5 循環器系に作用する薬物（高血圧症）、腎臓に作用する薬物、ホルモンとその関連薬（性ホルモンまで）
- 6 ホルモンとその関連薬、代謝性疾患治療薬
- 7 炎症・アレルギーと薬物、血液系に作用する薬物、筋弛緩薬
- 8 局所麻酔薬、抗悪性腫瘍薬、免疫抑制薬、抗リウマチ薬、消化器系に作用する薬物（胃腸機能改善～）
- 9 消化器系に作用する薬物（消化性潰瘍治療薬）、抗病原微生物薬、総論

薬物動態学

- 1 体内動態の基礎・吸収
- 2 分布・代謝
- 3 排泄・相互作用
- 4 薬動学①（全身クリアランス・2-コンパートメントモデル・バイオアベイラビリティ）
- 5 薬動学②（非線形・モーメント解析・点滴静注・繰り返し投与・パラメーター変動）
- 6 薬動学③（TDM・肝固有クリアランス）

物理薬理学

- 1 溶解速度、表面張力・界面活性剤（ぬれ除く）
- 2 分散系（コロイド分散系）、分散系（粗大分散系）、レオロジー
- 3 高分子、分子集合体（一部除く）、粒子・粉体の性質（ぬれ含む）

製剤学

- 1 日本薬局方、代表的な製剤①
- 2 代表的な製剤②（添加剤）、製剤化の方法、製剤試験法①
- 3 製剤試験法②、DDS

病態・薬物治療学

- 1 循環器系疾患、血液系疾患（～鉄欠乏性貧血）
- 2 血液系疾患（巨赤芽球形貧血～血友病）
- 3 消化器系疾患、泌尿生殖器系疾患（急性腎不全まで）
- 4 泌尿生殖器系疾患（慢性腎不全～）、呼吸器系疾患（気管支ぜん息）
- 5 呼吸器系疾患（COPD～）、内分泌系疾患（慢性甲状腺炎まで）
- 6 内分泌系疾患（クッシング症候群～）、代謝性疾患（糖尿病まで）
- 7 代謝性疾患（脂質異常症～）、神経筋の疾患（～てんかん）
- 8 神経筋の疾患（神経変性疾患～片頭痛）、精神疾患（統合失調症、うつ病）、骨関節疾患（骨粗しょう症まで）
- 9 骨関節疾患（関節リウマチ～）、悪性腫瘍性疾患（～消化器がん）
- 10 悪性腫瘍性疾患（乳がん～）、生物統計

法規・制度・倫理

- 1 医療の担い手としての使命、医療法、医薬品医療機器等法
- 2 医薬品医療機器等法、医薬品開発、薬剤師法
- 3 管理薬に関する規制、毒物及び劇物取締法、薬害と副作用被害
- 4 社会保障制度

実務

- 1 薬剤師、チーム医療、処方箋、疑義照会
- 2 疑義照会、調剤、特別な配慮を要する医薬品、製剤化の基礎
- 3 注射剤と輸液、消毒薬、リスクマネジメント
- 4 服薬指導、病院業務、薬局業務

価格表

科目別でも全科目でも特別価格！
更に参考書付き！！！！

物理化学	20,000円
分析化学・放射化学	30,000円
有機化学	35,000円
生物（生化学・機能形態学）	40,000円
衛生学	45,000円
薬理学	45,000円
薬物動態学	30,000円
物理薬理学	15,000円
製剤学	15,000円
病態・薬物治療学	50,000円
法規・制度・倫理	20,000円
実務	20,000円
全12科目（73講義）	348,000円

※すべて税別価格です。

※科目ごとのテキスト（オレンジブック）代込みです。